

**施策名：農林水産データ管理・活用基盤強化事業
革新的営農支援モデル開発
スマートバイオ産業・農業基盤技術** (戦略的イノベーション創造プログラム(SIP2))

農林水産省大臣官房政策課
技術政策室 03-6744-0408

分野 農林水産分野での未来技術の活用

総合戦略該当箇所 横 2 - 1 -(2)- iv

特徴・ポイント

農業データ連携基盤（WAGRI）の活用を促し、高い生産性と環境持続性とを両立するデータ駆動型のスマート農業の社会実装を加速化するための環境整備を推進する。

- ①メーカーの垣根を越えたデータ連携に必要なルールづくり【農林水産データ管理・活用基盤強化】
- ②生産・流通を高度化する予測支援ツールなどコンテンツの充実・強化【革新的営農支援モデル開発】
- ③生産から加工・流通・消費までをデータでつなぐ「スマートフードチェーン」の実現【SIP2】

予算額

【農林水産データ管理・活用基盤強化事業】
令和3年度 一般会計 150百万円

【革新的営農支援モデル開発】
令和2年度第3次補正 一般会計 6,200百万円の内数

【スマートバイオ産業・農業基盤技術】
令和3年度 一般会計（内閣府） 55,500百万円の内数

目的

【農林水産データ管理・活用基盤強化事業】

- ・ 農機・機器メーカーやICTベンダーの関係事業者等が機器・システム間でデータ連携をするためのオープンAPI整備に向けたルールづくりを支援する。

【革新的営農支援モデル開発】

- ・ 農業者の所得向上や実需のニーズに応じた農産物の安定供給の実現を図るため、革新的営農支援モデルを構築し、WAGRIへAPI実装する。

【スマートバイオ産業・農業基盤技術】

- ・ フードバリューチェーンの最適化を図るため、スマートフードチェーンシステムを構築する。

概要

【農林水産データ管理・活用基盤強化事業】

- ・ 関連事業者による協調データ項目の特定・拡大、APIの標準的な仕様の整備、接続検証を通じたルールづくりを支援。

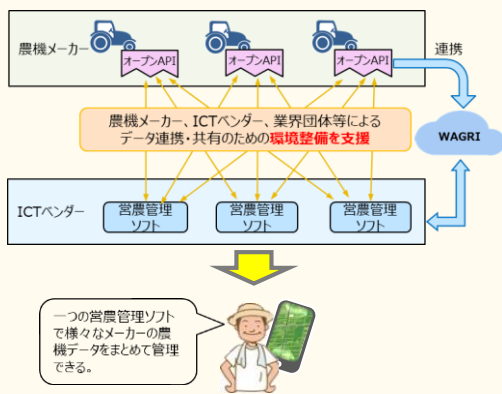
【革新的営農支援モデル開発】

- ・ 研究コンソーシアム等が、農業者や流通業者が求める生育・収量・出荷・需要などの予測モデルを開発し、WAGRIへAPI実装。

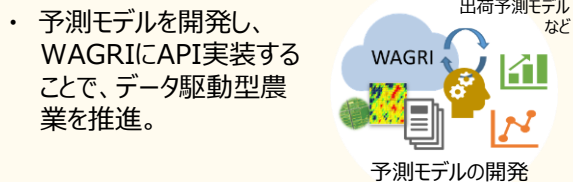
【スマートバイオ産業・農業基盤技術】

- ・ 研究コンソーシアムがスマートフードチェーンシステム構築に係る研究開発と活用実証を実施。

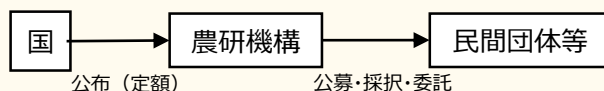
**【農林水産データ管理・活用基盤強化事業】
＜事業イメージと期待される効果＞**



**【革新的営農支援モデル開発】
＜事業イメージと期待される効果＞**



＜事業の流れ＞



**【スマートバイオ産業・農業基盤技術】
＜事業イメージと期待される効果＞**

